

聖書記者には、聖霊がそこかしこ

人間の発想より、はるかに偉大なものであり、神の霊、人間の霊とは異なる。人間の霊は、人間の心から出るが、神の霊は、神から出る。人間の霊は、人間の心から出るが、神の霊は、神から出る。

2023年6月7日「聖書講座」
手引をP131への補足資料

り、人間の言葉ではなく、むしろ、^{てんじょうてき}天上的な神秘的な言葉を語り、聞き手も聖霊によって、これらの言葉を理解できたとうまさに奇跡と言えましょう。

ちなみに、四世紀の教父カエサリアの司教、教会博士は、聖霊論で、次のように聖霊の働きについて、くわしく説明しています。

「聖霊は神の霊、^{おんちち}御父のもとから出る真理の霊、正しい霊、指導する霊と呼ばれる。聖なる者となるすべての者は、この聖霊へと向かう。...

聖霊は聖なる者になるための^{みなもと}源、^{せいせい}聖性を照らす光であり、理解する力をもつすべての者に真理を^{たんきゆう}探究するための光として自らを与える。

聖霊は、もともと近づきがたい方であるが、その慈しみのゆえにご自分を^{とら}捉えうるものとなる。聖霊はその力によって^{ばんぶつ}万物を満たしているが、まさによさわしい者だけがそれに^{あずか}与ることができる。しかも、聖霊は同じ程度でご自分を分かち与えるのではなく、信仰の度合いに応じてその活力を分かち与えるのである。... 聖霊は、^{おのおの}全体として各々の人と共にあり、また全体としてどこにでもおられる。...

→ 同心しりん (おんしりん)
↓ 神の霊の働き

聖霊は、それを受ける一人ひとりに、その人だけと共におられるかのようでありながら、すべての人に十分かつ全面的に恵みを注がれる。だれでも、その人の受ける^{うつわ}器の大きさに^{おの}応じて、^{あま}聖霊の余すところのない力に^{あずか}与るのである。

この聖霊によって心は高みへと引き上げられ、弱い者には手を引いて導かれ、進歩する者は、完成される。聖霊はあらゆる^{けが}汚れを洗い清められた者を照らしながら、彼らとの交わりを通して、彼らをまさに霊的なものとする。...」と。

聖霊を受けるために器を準備す

彼らに息を吹きかけて言われた聖霊を受けなさい (ヨハネ 20:22 参照)

次に今日の福音ですが、ヨハネが伝える復活のイエスが、初めて弟子たちに^{あらわ}現れてくださった、まさに感動的な場面の報告に^{ほか}他なりません。

まず、その日時を「その日、すなわち週の初めの日の夕方」と、^{げんてい}限定しています。これは、明らかにユダヤの^{こよみ}暦に基づくので、安息日^{あんそくび}で終わる週の初め、つまり私たちの^{こよみ}暦では、日曜日になります。

次に、「弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に^{かぎ}鍵をかけていた。」と、弟子たちが、おびえて、すべての戸口をしっかりと戸締りしたと

介護者：(1)つむぎに²いって掛けてくたせよ

↓ 聖霊